

平成24年度

第2回市政モニターアンケート

自転車の利用促進について

北九州市市民文化スポーツ局広聴課

目 次

I 調査の概要	1
II 市政モニターの構成	1
III 調査結果	2
1. 設問の構成	2
2. 調査結果	3
【あなた自身のことについて】	
1) 運転免許の保有状況について	3
2) 通勤・通学先の住所及び距離について	4
3) 自転車に乗ることが出来るか否かについて	5
4) 自転車に乗る場合の道路の走行場所について	6
5) 自転車で移動できる距離及び時間について	7
【通勤通学や買物の際の交通手段について】	
6) 通勤・通学時の交通手段について	9
7) 通勤・通学時の移動における自転車利用の頻度について	10
8) 通勤・通学時の移動における自転車利用の理由について	11
9) 私用時（買物、趣味、娯楽、通院など）の交通手段について	12
10) 私用時の移動における自転車利用の頻度について	13
11) 私用時の移動における自転車利用の理由について	14
【自転車をもっと利用するために】	
12) 自転車の利用促進、クルマから自転車への転換に必要なものについて	15
13) 自転車利用について改善すべき点について	16
14) 自転車利用を支えるためクルマの利用について改善すべき点について	17
【自転車の走行場所について】	
15) 自転車は道路のどの部分を走行するのが良いか	18
16) 自転車のルールを意識して守るのはどこを走行するときか	19
17) 「シティバイク」について知っているか	20
【あなたのクルマ（自動車）の運転について】	
18) 普段、自分でクルマを運転するか	21
19) 自転車専用のレーンや案内標識がある場合に、クルマの駐車を控えるか	22
20) クルマでの走行中に自転車を追い越すときに安全な間隔を取るか	23
【環境首都実現に向けた取り組みとしての、環境にやさしい自転車の利用促進について】	
21) 環境にやさしい自転車の利用促進に関する取り組みについて	24
22) 自転車の利用促進による、まちづくりへの貢献について	25
23) 現在の市内の自転車利用環境について	26
IV 全体考察	27

I 調査の概要

調査対象者	市政モニター150人
回答者数	144人(回収率 96.0%)
調査実施日	平成24年5月29日～平成24年6月13日
実施方法	調査票による郵送及びインターネット調査
調査実施課	市民文化スポーツ局広聴課 電話 582-2527
調査依頼課	建設局道路維持課 電話 582-2274

II 市政モニターの構成

区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	150 (100.0%)	60 (40.0%)	90 (60.0%)	区 別			
				門司区	17 (11.3%)	7 (4.7%)	10 (6.7%)
20歳代	16 (10.7%)	4 (2.7%)	12 (8.0%)	小倉北区	28 (18.7%)	11 (7.3%)	17 (11.3%)
30歳代	32 (21.3%)	10 (6.7%)	22 (14.7%)	小倉南区	32 (21.3%)	13 (8.7%)	19 (12.7%)
40歳代	28 (18.7%)	7 (4.7%)	21 (14.0%)	若松区	13 (8.7%)	5 (3.3%)	8 (5.3%)
50歳代	25 (16.7%)	10 (6.7%)	15 (10.0%)	八幡東区	11 (7.3%)	4 (2.7%)	7 (4.7%)
60歳代	31 (20.7%)	17 (11.3%)	14 (9.3%)	八幡西区	39 (26.0%)	16 (10.7%)	23 (15.3%)
70歳以上	18 (12.0%)	12 (8.0%)	6 (4.0%)	戸畑区	10 (6.7%)	4 (2.7%)	6 (4.0%)

※ 数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

Ⅲ 調査結果

1. 設問の構成

アンケート調査票は、以下の 23 項目で構成した。

【あなた自身のことについて】	
問 1	運転免許の保有状況について
問 2	通勤・通学先の住所及び距離について
問 3	自転車に乗ることが出来るか否かについて
問 4	自転車に乗る場合の道路の走行場所について
問 5	自転車で移動できる距離及び時間について
【通勤通学や買物の際の交通手段について】	
問 6	通勤・通学時の交通手段について
問 7	通勤・通学時の移動における自転車利用の頻度について
問 8	通勤・通学時の移動における自転車利用の理由について
問 9	私用時（買物、趣味、娯楽、通院など）の交通手段について
問 10	私用時の移動における自転車利用の頻度について
問 11	私用時の移動における自転車利用の理由について
【自転車をもっと利用するために】	
問 12	自転車の利用促進及びクルマから自転車への転換に必要なものについて
問 13	自転車利用について改善すべき点について
問 14	自転車利用を支えるためクルマの利用について改善すべき点について
【自転車の走行場所について】	
問 15	自転車は道路のどの部分を走行するのが良いか
問 16	自転車のルールを意識して守るのはどこを走行するときか
問 17	「シティバイク」について知っているか
【あなたのクルマ（自動車）の運転について】	
問 18	普段、自分でクルマを運転するか
問 19	自転車専用のレーンや案内標識がある場合に、クルマの駐車を控えるか
問 20	クルマでの走行中に自転車を追い越すときに安全な間隔を取るか
【環境首都実現に向けた取り組みとしての、環境にやさしい自転車の利用促進について】	
問 21	環境にやさしい自転車の利用促進に関する取り組みについて
問 22	自転車の利用促進による、まちづくりへの貢献について
問 23	現在の市内の自転車利用環境について

2. 調査結果

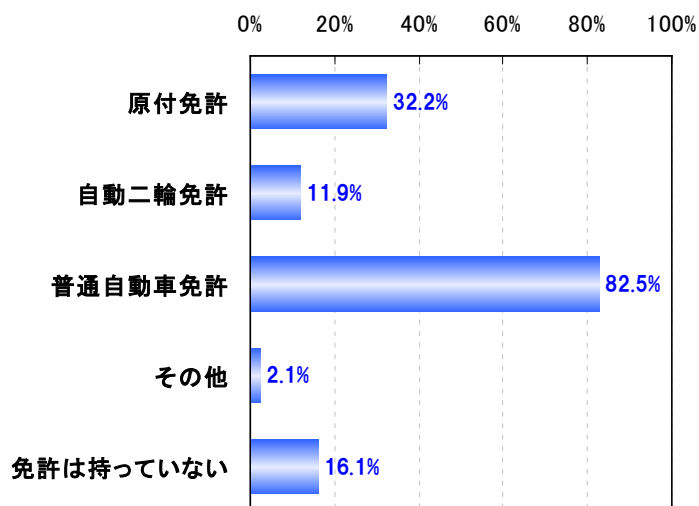
あなた自身のことについて	問 1) 運転免許の保有状況を教えてください。 (複数回答可)
--------------	---------------------------------------

○「普通自動車免許」(82.5%)に回答した人が最も多くなっている。

回答者数=143人

番号	回答内容	票数	割合
1	原付免許	46	32.2%
2	自動二輪免許	17	11.9%
3	普通自動車免許	118	82.5%
4	その他	3	2.1%
5	免許は持っていない	23	16.1%

注) 複数回答のため割合の合計は100%を超える



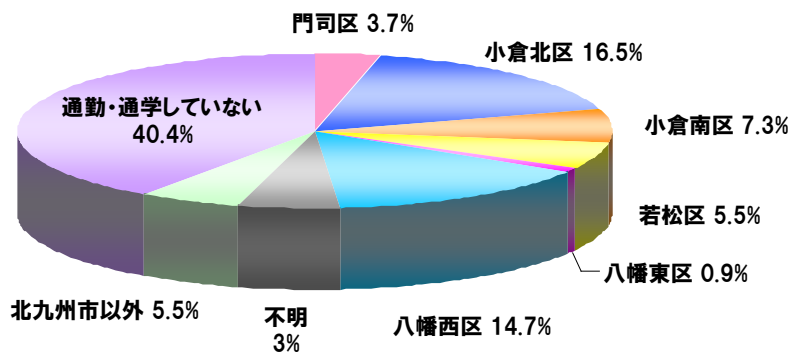
あなた自身のことについて	<p>問 2)</p> <p>あなたの通勤・通学先(パート・アルバイトも含みます)の住所を教えてください。また、通勤・通学のおおよその距離はどのくらいですか？</p>
--------------	---

- 「小倉北区」(16.5%)が最も多く、次に「八幡西区」(14.7%)と回答した人が多くなっている。
- 通勤・通学の距離は「5km以内」(50.7%)と回答した人が過半数を占めている。

■通勤・通学先の住所

回答者数=109人

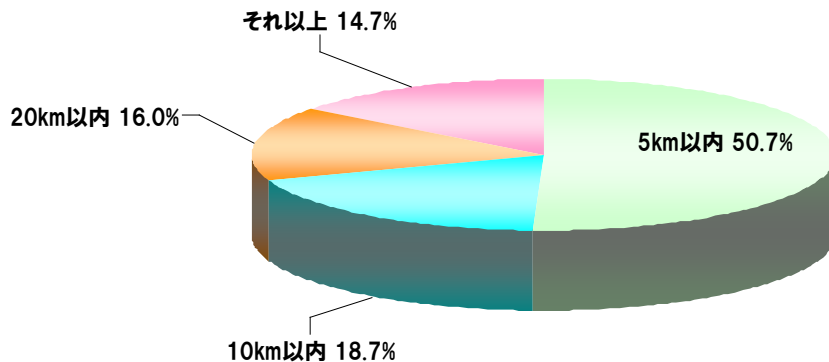
番号	回答内容	票数	割合
1	門司区	4	3.7%
2	小倉北区	18	16.5%
3	小倉南区	8	7.3%
4	若松区	6	5.5%
5	八幡東区	1	0.9%
6	八幡西区	16	14.7%
7	戸畑区	6	5.5%
8	北九州市以外	6	5.5%
9	通勤・通学していない	44	40.4%



■通勤・通学先のおおよその距離

回答者数=75人

番号	回答内容	票数	割合
1	5km以内	38	50.7%
2	10km以内	14	18.7%
3	20km以内	12	16.0%
4	それ以上	11	14.7%



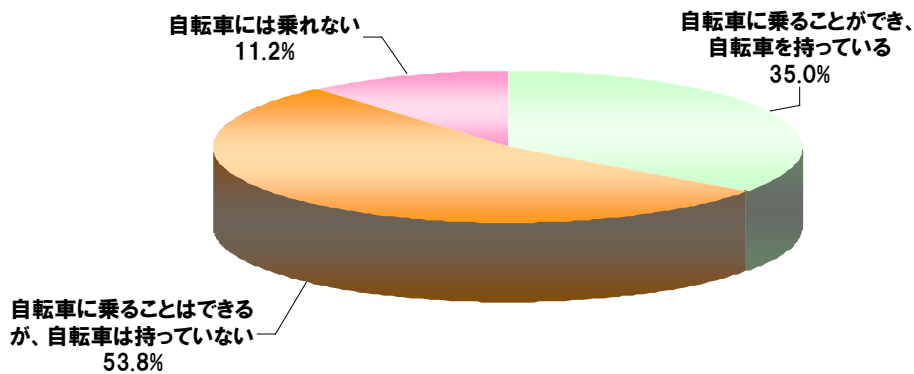
あなた自身のことについて	問3) あなたは自転車に乗れますか。
--------------	-----------------------

○「自転車に乗ることはできるが、自転車は持っていない」(53.8%)と回答した人が過半数を占めている。
 ○次に、「自転車に乗ることができ、自転車を持っている」(35.0%)と回答した人のうち、「シティサイクル(ママチャリ)」(60.7%)と回答した人が最も多くなっている。

■自転車に乗ることが出来るか否か

回答者数=143人

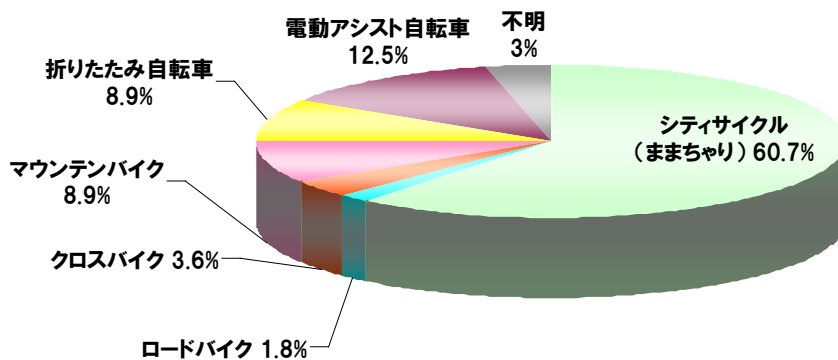
番号	回答内容	票数	割合
1	自転車に乗ることができ、自転車を持っている	50	35.0%
2	自転車に乗ることはできるが、自転車は持っていない	77	53.8%
3	自転車には乗れない	16	11.2%



■自転車に乗ることができ、自転車を持っている人の自転車の種類

回答者数=56人

番号	回答内容	票数	割合
1	シティサイクル(ママチャリ)	34	60.7%
2	ロードバイク	1	1.8%
3	クロスバイク	2	3.6%
4	マウンテンバイク	5	8.9%
5	折りたたみ自転車	5	8.9%
6	電動アシスト自転車	7	12.5%
7	その他	2	3.6%



あなた自身のことについて

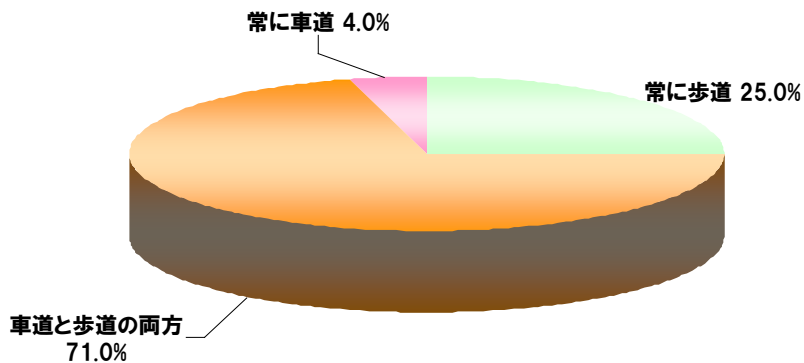
問 4)
あなたは自転車に乗る場合、通常道路のどこを走行しますか。

- 「車道と歩道の両方」(71.0%)と回答した人が最も多くなっている。
- また、「車道と歩道の両方」を走行する人のうち、「歩道 9 に対して車道 1」(25.3%)、「歩道 8 に対して車道 2」(25.3%)と回答した人が多く、自転車に乗る場合の多くは歩道を走行している。

■自転車に乗る場合、通常道路のどこを走行するか

回答者数=124人

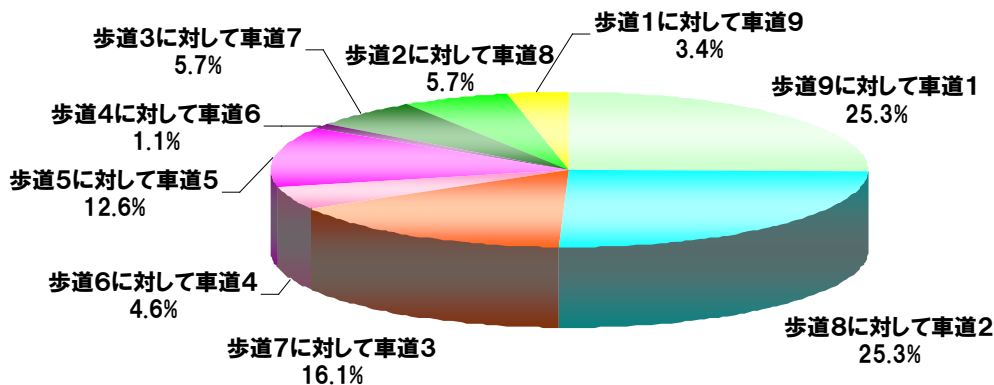
番号	回答内容	票数	割合
1	常に歩道	31	25.0%
2	車道と歩道の両方	88	71.0%
3	常に車道	5	4.0%



■車道と歩道の両方を走行する場合の割合

回答者数=87人

番号	回答内容	票数	割合
1	歩道9に対して車道1	22	25.3%
2	歩道8に対して車道2	22	25.3%
3	歩道7に対して車道3	14	16.1%
4	歩道6に対して車道4	4	4.6%
5	歩道5に対して車道5	11	12.6%
6	歩道4に対して車道6	1	1.1%
7	歩道3に対して車道7	5	5.7%
8	歩道2に対して車道8	5	5.7%
9	歩道1に対して車道9	3	3.4%



あなた自身のことについて

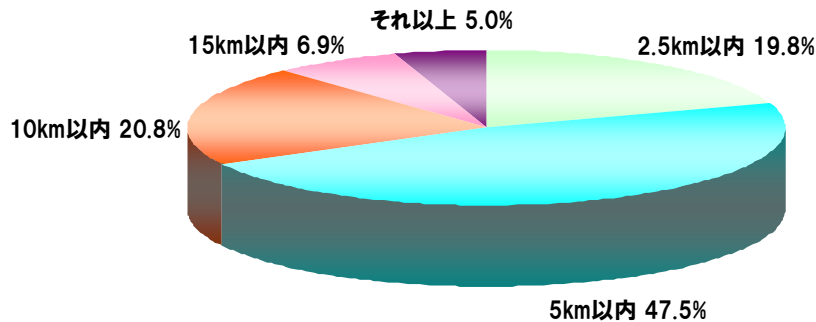
問 5-1)あなたは自転車でのどのくらい移動できますか。
通勤・通学・買物などの日常的な片道の移動距離または時間(複数の移動がある場合は、最も移動距離の長いもの)

- 「2.5km 以内」(19.8%)と「5km 以内」(47.5%)をあわせた 5km 以内の近距離移動と回答した人が約 7 割 (67.3%)を占めている。
- 「10 分以内」(44.0%)と「30 分以内」(44.0%)と回答した人が約 9 割 (88.0%)を占めている。

■ 通勤・通学・買物などの日常的な片道の移動距離 (複数の移動がある場合は、最も移動距離の長いもの)

回答者数=101 人

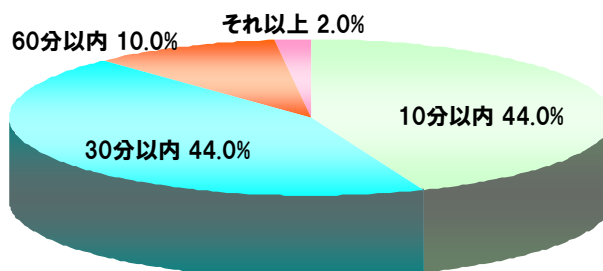
番号	回答内容	票数	割合
1	2.5km以内	20	19.8%
2	5km以内	48	47.5%
3	10km以内	21	20.8%
4	15km以内	7	6.9%
5	それ以上	5	5.0%



■ 通勤・通学・買物などの日常的な片道の移動時間 (複数の移動がある場合は、最も移動距離の長いもの)

回答者数=100 人

番号	回答内容	票数	割合
1	10分以内	44	44.0%
2	30分以内	44	44.0%
3	60分以内	10	10.0%
4	それ以上	2	2.0%



あなた自身のことについて

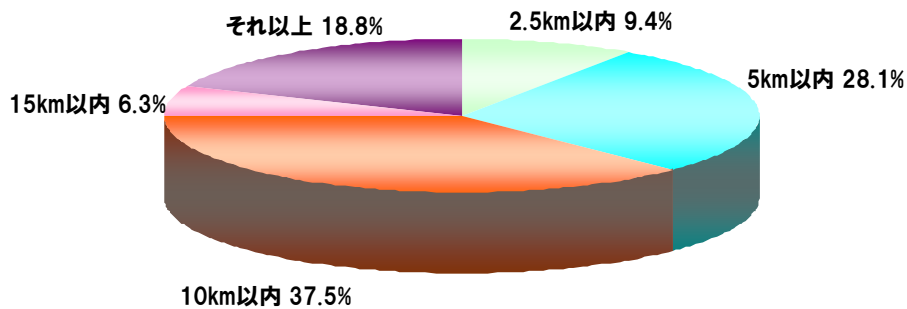
問 5-2)あなたは自転車で最大どのくらい移動できますか。
最大移動できる片道の移動距離または時間

- 「2.5km以内」(9.4%)と「5km以内」(28.1%)、「10km以内」(37.5%)をあわせた10km以内の近中距離移動が可能と回答した人が7割以上(75.0%)を占めている。
- 「10分から30分以内」(46.5%)と回答した人が最も多くなっている。

■最大移動できる片道の移動距離

回答者数=96人

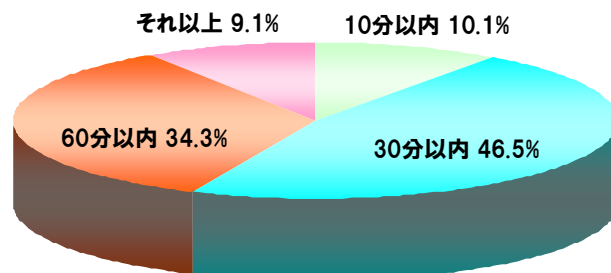
番号	回答内容	票数	割合
1	2.5km以内	9	9.4%
2	5km以内	27	28.1%
3	10km以内	36	37.5%
4	15km以内	6	6.3%
5	それ以上	18	18.8%



■最大移動できる片道の移動時間

回答者数=99人

番号	回答内容	票数	割合
1	10分以内	10	10.1%
2	30分以内	46	46.5%
3	60分以内	34	34.3%
4	それ以上	9	9.1%



通勤通学や買物の際の交通手段について

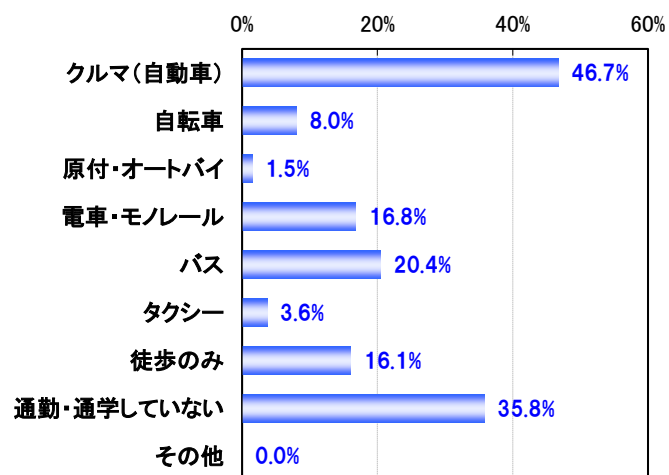
問 6)
通勤・通学時の交通手段を選択してください。(複数回答可)その他を選んだ場合は具体的に記入してください。

- 「クルマ（自動車）」(46.7%)に約半数の人が回答している。
- 「自転車」(8.0%)に回答した人は少ない。

回答者数=137人

番号	回答内容	票数	割合
1	クルマ(自動車)	64	46.7%
2	自転車	11	8.0%
3	原付・オートバイ	2	1.5%
4	電車・モノレール	23	16.8%
5	バス	28	20.4%
6	タクシー	5	3.6%
7	徒歩のみ	22	16.1%
8	通勤・通学していない	49	35.8%
9	その他	0	0.0%

注) 複数回答のため割合の合計は100%を超える



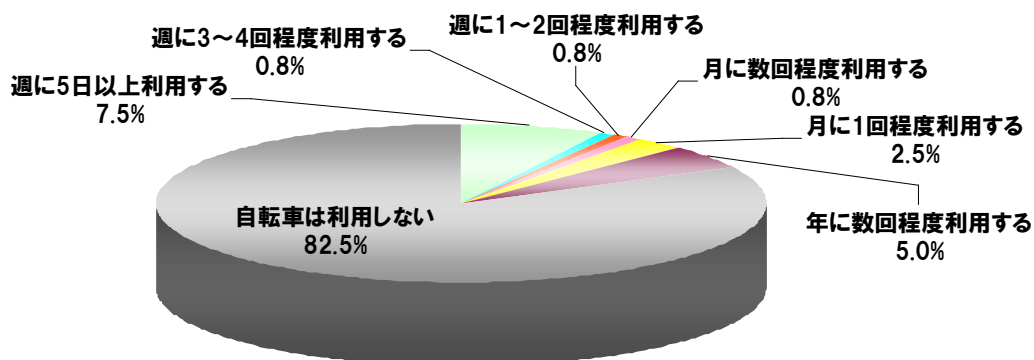
通勤通学や買物の際の交通手段について

問 7)
通勤通学時の移動のすべて、または一部に自転車を利用することがありますか。

○「自転車を利用しない」(82.5%)と回答した人が最も多く、8割以上を占めている。

回答者数=120人

番号	回答内容	票数	割合
1	週に5日以上利用する	9	7.5%
2	週に3~4回程度利用する	1	0.8%
3	週に1~2回程度利用する	1	0.8%
4	月に数回程度利用する	1	0.8%
5	月に1回程度利用する	3	2.5%
6	年に数回程度利用する	6	5.0%
7	自転車は利用しない	99	82.5%



通勤通学や買物の
際の交通手段に
ついて

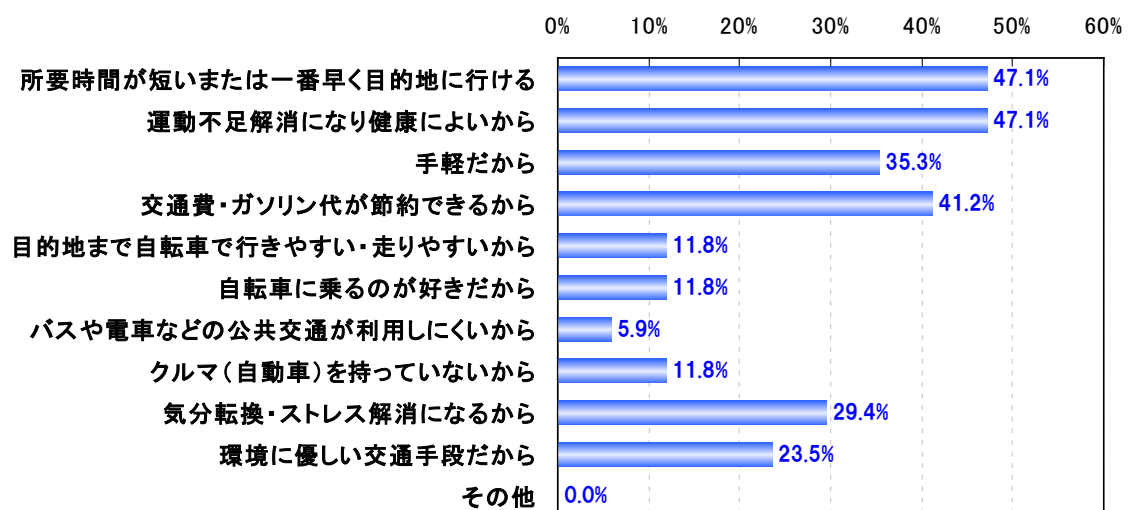
問 8)
通勤通学時の自転車を利用することがある方におたずねします。自転車
を通勤通学に利用する理由を教えてください。(複数回答可)その他
を選んだ場合は具体的に記入してください。

- 「所要時間が短いまたは一番早く目的地に行ける」(47.1%)と「運動不足解消になり健康によいから」(47.1%)に回答した人が最も多くなっている。
- 次に、「交通費・ガソリン代が節約できるから」(41.2%)、「手軽だから」(35.3%)に回答した人が多くなっている。

回答者数=17人

番号	回答内容	票数	割合
1	所要時間が短いまたは一番早く目的地に行ける	8	47.1%
2	運動不足解消になり健康によいから	8	47.1%
3	手軽だから	6	35.3%
4	交通費・ガソリン代が節約できるから	7	41.2%
5	目的地まで自転車で行きやすい・走りやすいから	2	11.8%
6	自転車に乗るのが好きだから	2	11.8%
7	バスや電車などの公共交通が利用しにくいから	1	5.9%
8	クルマ(自動車)を持っていないから	2	11.8%
9	気分転換・ストレス解消になるから	5	29.4%
10	環境に優しい交通手段だから	4	23.5%
11	その他	0	0.0%

注) 複数回答のため割合の合計は 100%を超える



通勤通学や買物の際の交通手段について

問 9)

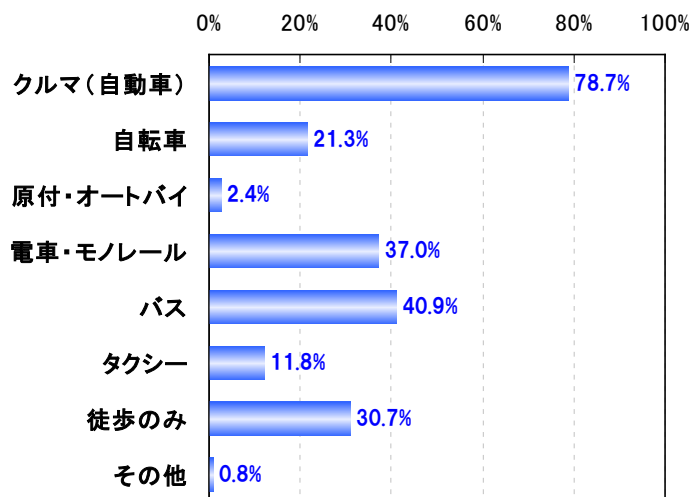
私用時(買物、趣味、娯楽、通院など)の交通手段を教えてください。(複数回答可)その他を選んだ場合は具体的に記入してください。

- 「クルマ(自動車)」(78.7%)に約8割の人が回答している。
- 「自転車」(21.3%)を利用する人は、通勤通学時に自転車を利用する人(8.0%)に比べ多くなっている。

回答者数=127人

番号	回答内容	票数	割合
1	クルマ(自動車)	100	78.7%
2	自転車	27	21.3%
3	原付・オートバイ	3	2.4%
4	電車・モノレール	47	37.0%
5	バス	52	40.9%
6	タクシー	15	11.8%
7	徒歩のみ	39	30.7%
8	その他	1	0.8%

注) 複数回答のため割合の合計は100%を超える



通勤通学や買物の
際の交通手段に
ついて

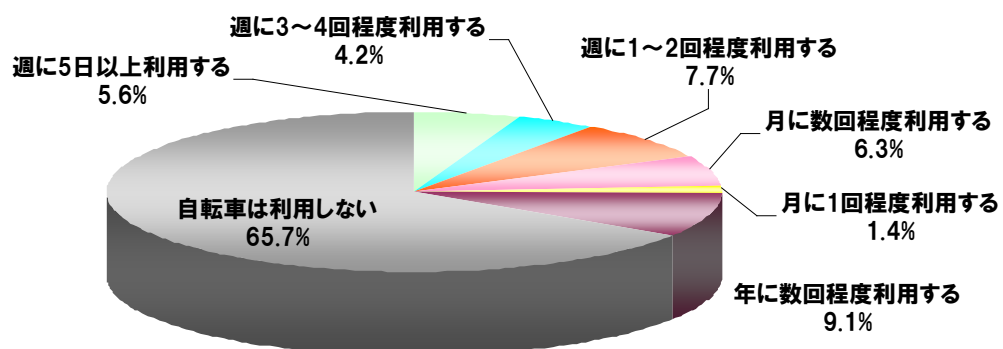
問 10)

私用時の移動のすべて、または一部に自転車を利用することが
ありますか。

○「自転車を利用しない」(65.7%)と回答した人が6割以上を占め、「月に数回程度」(6.3%)、「月に1回程度」(1.4%)、「年に数回程度」(9.1%)を加えた、利用頻度の低い回答が8割以上(82.5%)を占めている。

回答者数=143人

番号	回答内容	票数	割合
1	週に5日以上利用する	8	5.6%
2	週に3~4回程度利用する	6	4.2%
3	週に1~2回程度利用する	11	7.7%
4	月に数回程度利用する	9	6.3%
5	月に1回程度利用する	2	1.4%
6	年に数回程度利用する	13	9.1%
7	自転車は利用しない	94	65.7%



通勤通学や買物の
際の交通手段に
ついて

問 11)

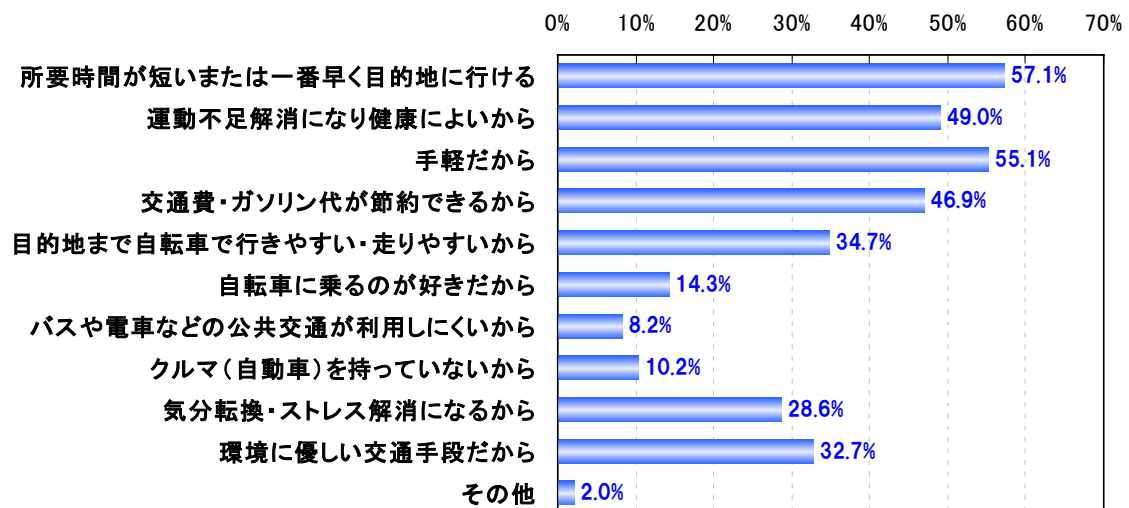
私用時自転車を利用することがある方におたずねします。自転車を私用時に利用する理由を教えてください。(複数回答可)その他を選んだ場合は具体的に記入してください。

○「所要時間が短いまたは一番早く目的地に行ける」(57.1%)に回答した人が最も多く、「手軽だから」(55.1%)、「運動不足解消になり健康によいから」(49.0%)、「交通費・ガソリン代が節約できるから」(46.9%)などに、約半数の人が回答している。

回答者数=49人

番号	回答内容	票数	割合
1	所要時間が短いまたは一番早く目的地に行ける	28	57.1%
2	運動不足解消になり健康によいから	24	49.0%
3	手軽だから	27	55.1%
4	交通費・ガソリン代が節約できるから	23	46.9%
5	目的地まで自転車で行きやすい・走りやすいから	17	34.7%
6	自転車に乗るのが好きだから	7	14.3%
7	バスや電車などの公共交通が利用しにくいから	4	8.2%
8	クルマ(自動車)を持っていないから	5	10.2%
9	気分転換・ストレス解消になるから	14	28.6%
10	環境に優しい交通手段だから	16	32.7%
11	その他	1	2.0%

注) 複数回答のため割合の合計は100%を超える



自転車をもっと利用するために

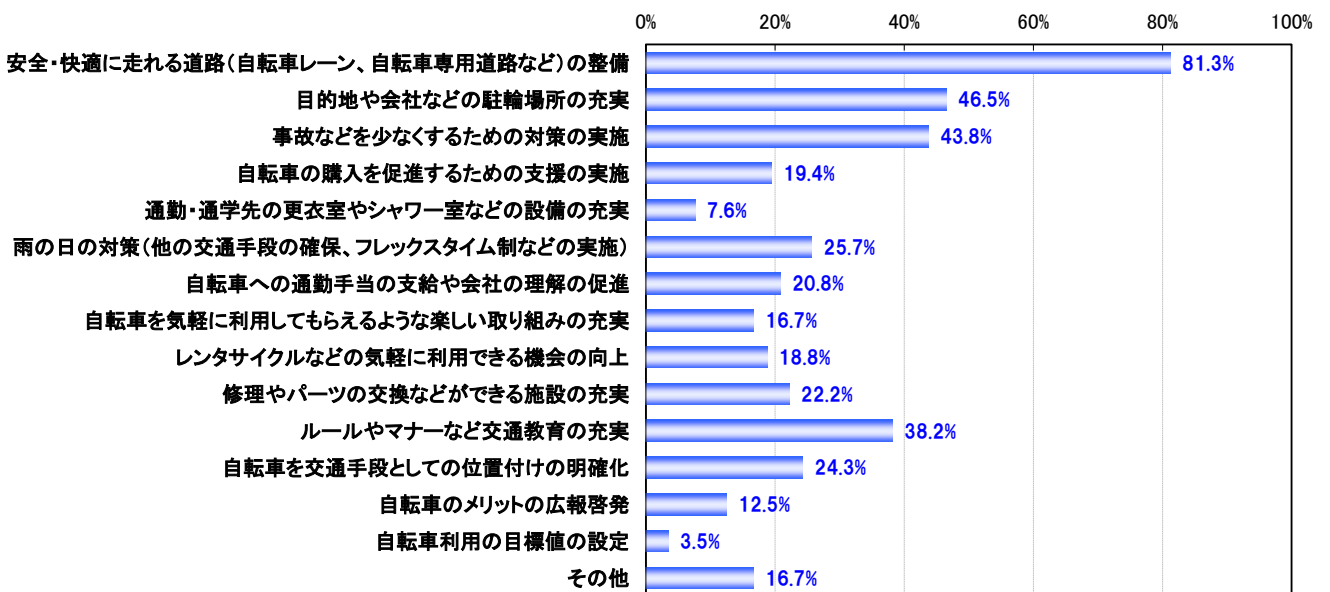
問 12)
あなたが自転車にもっと乗るため、または、クルマ(自動車)利用から自転車利用に変更するためには何が必要ですか。(複数回答可)

- 「安全・快適に走れる道路(自転車レーン、自転車専用道路など)の整備」(81.3%)に8割以上の人が回答している。
- 「目的地や会社などの駐輪場所の充実」(46.5%)、「事故などを少なくするための対策の実施」(43.8%)「ルールやマナーなど交通教育の充実」(38.2%)などに回答した人が多い。

回答者数=138人

番号	回答内容	票数	割合
1	安全・快適に走れる道路(自転車レーン、自転車専用道路など)の整備	117	81.3%
2	目的地や会社などの駐輪場所の充実	67	46.5%
3	事故などを少なくするための対策の実施	63	43.8%
4	自転車の購入を促進するための支援の実施	28	19.4%
5	通勤・通学先の更衣室やシャワー室などの設備の充実	11	7.6%
6	雨の日の対策(他の交通手段の確保、フレックスタイム制などの実施)	37	25.7%
7	自転車への通勤手当の支給や会社の理解の促進	30	20.8%
8	自転車を気軽に利用してもらえるような楽しい取り組みの充実	24	16.7%
9	レンタサイクルなどの気軽に利用できる機会の向上	27	18.8%
10	修理やパーツの交換などができる施設の充実	32	22.2%
11	ルールやマナーなど交通教育の充実	55	38.2%
12	自転車を交通手段としての位置付けの明確化	35	24.3%
13	自転車のメリットの広報啓発	18	12.5%
14	自転車利用の目標値の設定	5	3.5%
15	その他	24	16.7%

注) 複数回答のため割合の合計は100%を超える



自転車をもっと利用
するために

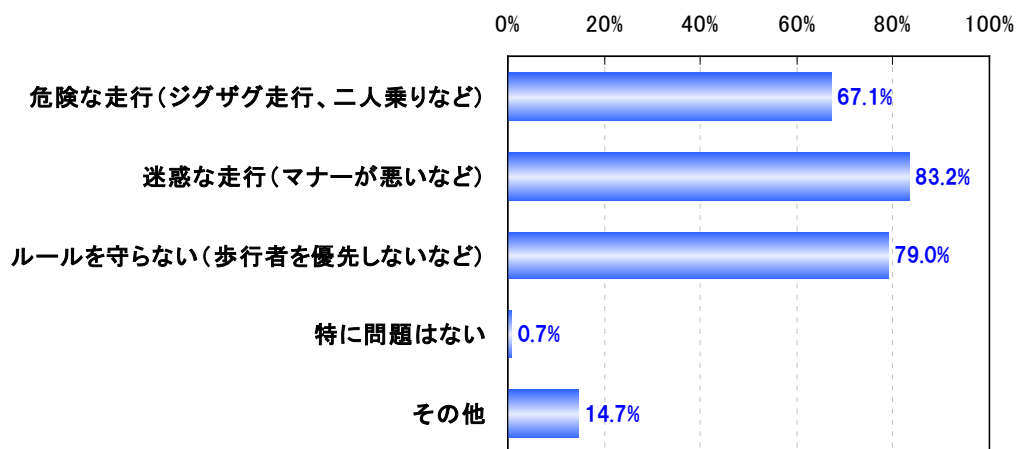
問 13)
<自転車利用やクルマ(自動車)利用の改善点についておたずねします> 自転車利用について改善すべき点は次のいずれでしょうか。
(複数回答可)

○「迷惑な走行(マナーが悪いなど)」(83.2%)「ルールを守らない(歩行者を優先しないなど)」(79.0%)などに約 8 割の人が回答している。また、「特に問題はない」に回答した人は 1%に満たない。

回答者数=143 人

番号	回答内容	票数	割合
1	危険な走行(ジグザグ走行、二人乗りなど)	96	67.1%
2	迷惑な走行(マナーが悪いなど)	119	83.2%
3	ルールを守らない(歩行者を優先しないなど)	113	79.0%
4	特に問題はない	1	0.7%
5	その他	21	14.7%

注) 複数回答のため割合の合計は 100%を超える



自転車をもっと利用
するために

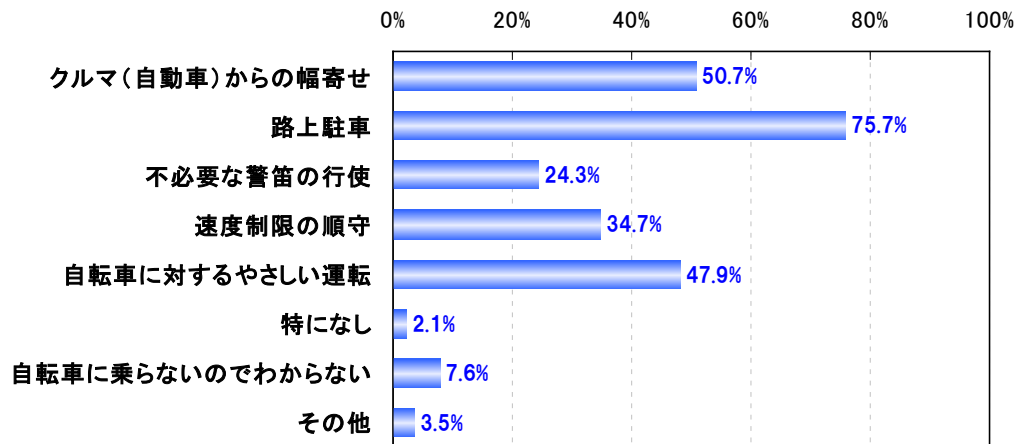
問 14)
自転車利用を支えるため、クルマ(自動車)の利用について
改善すべき点は次のいずれでしょうか。(複数回答可)

○「路上駐車」(75.7%)に7割以上の方が回答している。

回答者数=144人

番号	回答内容	票数	割合
1	クルマ(自動車)からの幅寄せ	73	50.7%
2	路上駐車	109	75.7%
3	不必要な警笛の行使	35	24.3%
4	速度制限の順守	50	34.7%
5	自転車に対するやさしい運転	69	47.9%
6	特になし	3	2.1%
7	自転車に乗らないのでわからない	11	7.6%
8	その他	5	3.5%

注) 複数回答のため割合の合計は100%を超える



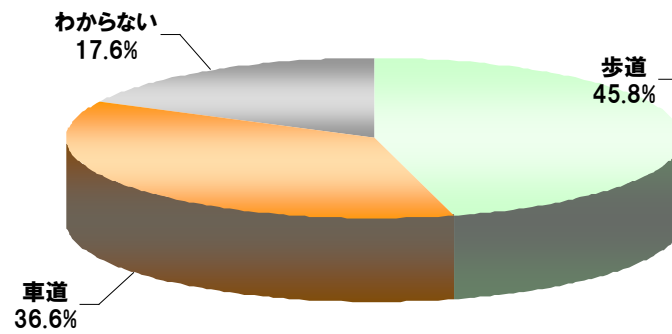
自転車の走行場所について

問 15)
自転車は道路のどの部分を走行するのがよいと思いますか。

○「歩道」(45.8%)と回答した人が、「車道」(36.6%)と回答した人を上回っている。

回答者数=142人

番号	回答内容	票数	割合
1	歩道	65	45.8%
2	車道	52	36.6%
3	わからない	25	17.6%



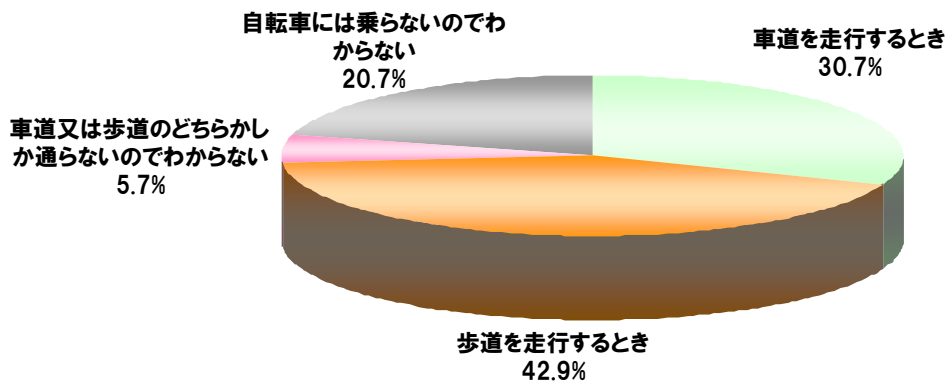
自転車の走行場所について

問 16)
自転車のルールを意識して守るのは、どこを走行するときですか。

○「歩道を走行するとき」(42.9%)と回答した人が最も多くなっている。

回答者数=139人

番号	回答内容	票数	割合
1	車道を走行するとき	43	30.7%
2	歩道を走行するとき	60	42.9%
3	車道又は歩道のどちらかしか通らないのでわからない	8	5.7%
4	自転車には乗らないのでわからない	29	20.7%



自転車の走行場所
について

問 17)

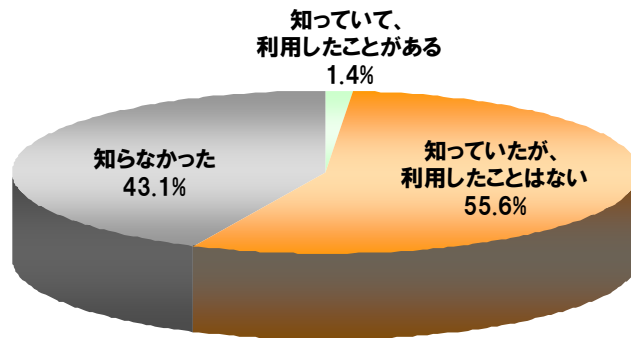
小倉都心部と八幡東田地区では「シティバイク」という電動自転車
共同利用サービス(複数の場所で貸し借りできるレンタサイクル)を
実施していますが、ご存知でしたか。

シティバイク紹介 URL:http://www.chocmo-club.com/citybike_jp.html

○「知っていたが、利用したことはない」(55.6%)と回答した人が過半数を占めている。

回答者数=144 人

番号	回答内容	票数	割合
1	知っていて、利用したことがある	2	1.4%
2	知っていたが、利用したことはない	80	55.6%
3	知らなかった	62	43.1%



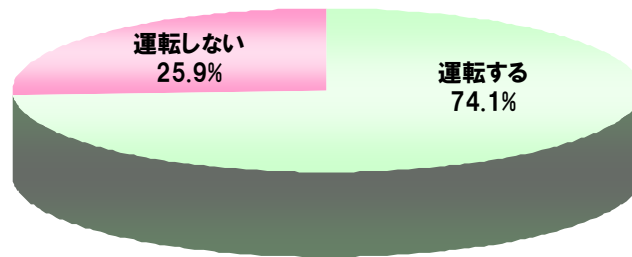
あなたのクルマ
(自動車)の運転に
ついて

問 18)
あなたは普段自分でクルマ(自動車)を運転することがありますか。

○「運転する」(74.1%)と7割以上の方が回答している。

回答者数=143人

番号	回答内容	票数	割合
1	運転する	106	74.1%
2	運転しない	37	25.9%



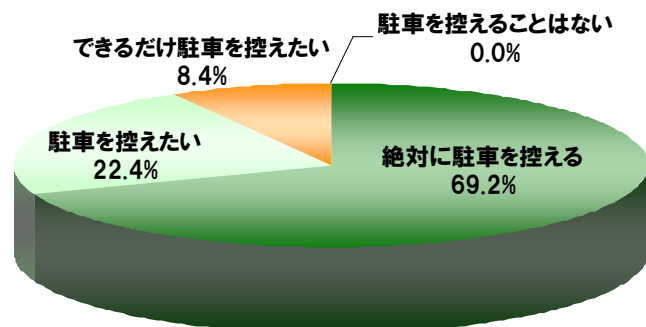
あなたのクルマ
(自動車)の運転に
ついて

問 19)
車道の左端に自転車専用の空間として、派手な色の自転車専用の
レーンや案内標識の表示がある場合、クルマ(自動車)の駐車を
控えますか。

○「絶対に駐車を控える」(69.2%)と回答した人が最も多く、「駐車を控えたい」(22.4%)
を含めると、駐車を控える意向の人が9割以上(91.6%)を占めている。

回答者数=107人

番号	回答内容	票数	割合
1	絶対に駐車を控える	74	69.2%
2	駐車を控えたい	24	22.4%
3	できるだけ駐車を控えたい	9	8.4%
4	駐車を控えることはない	0	0.0%



あなたのクルマ
(自動車)の運転に
ついて

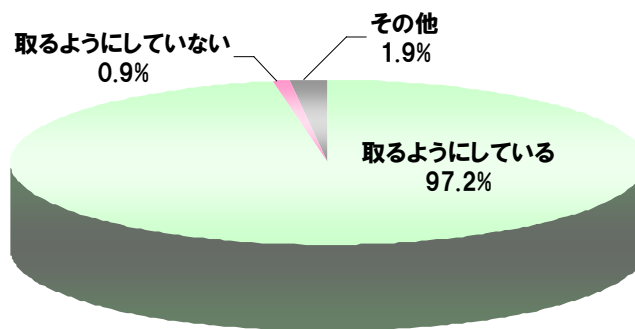
問 20)

クルマ(自動車)で走行していて、自転車を追い越すときに、安全な
間隔を取るようになっていますか。

○「安全な間隔を取るようになっている」(97.2%)とほぼ全員が回答している。

回答者数=108人

番号	回答内容	票数	割合
1	取るようになっている	105	97.2%
2	取るようしていない	1	0.9%
3	その他	2	1.9%



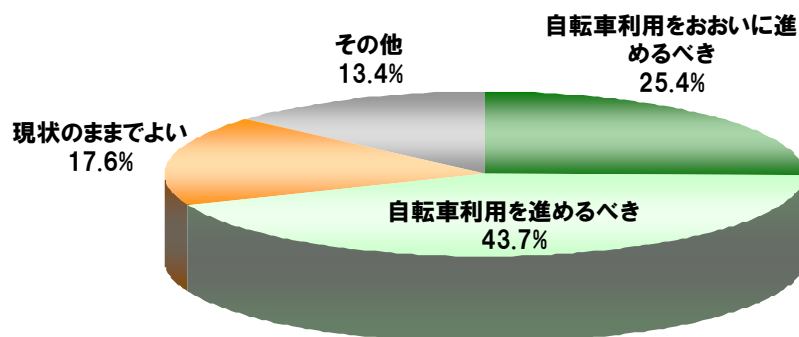
環境首都実現に向けた取り組みのひとつとして、環境にやさしい自転車の利用促進について

問 21)
このような取り組みを進めることについてどう思いますか。

○「自転車利用を進めるべき」(43.7%)と回答した人が最も多く、「自転車利用をおおいに進めるべき」(25.4%)と合わせると、自転車利用を進めることに対し肯定的な意見は全体の約7割(69.1%)を占めている。

回答者数=142人

番号	回答内容	票数	割合
1	自転車利用をおおいに進めるべき	36	25.4%
2	自転車利用を進めるべき	62	43.7%
3	現状のままでよい	25	17.6%
4	その他	19	13.4%



環境首都実現に向けた取り組みのひとつとして、環境にやさしい自転車の利用促進について

問 22)
自転車の利用促進はどのようなまちづくりに貢献すると思いますか。
(複数回答可)

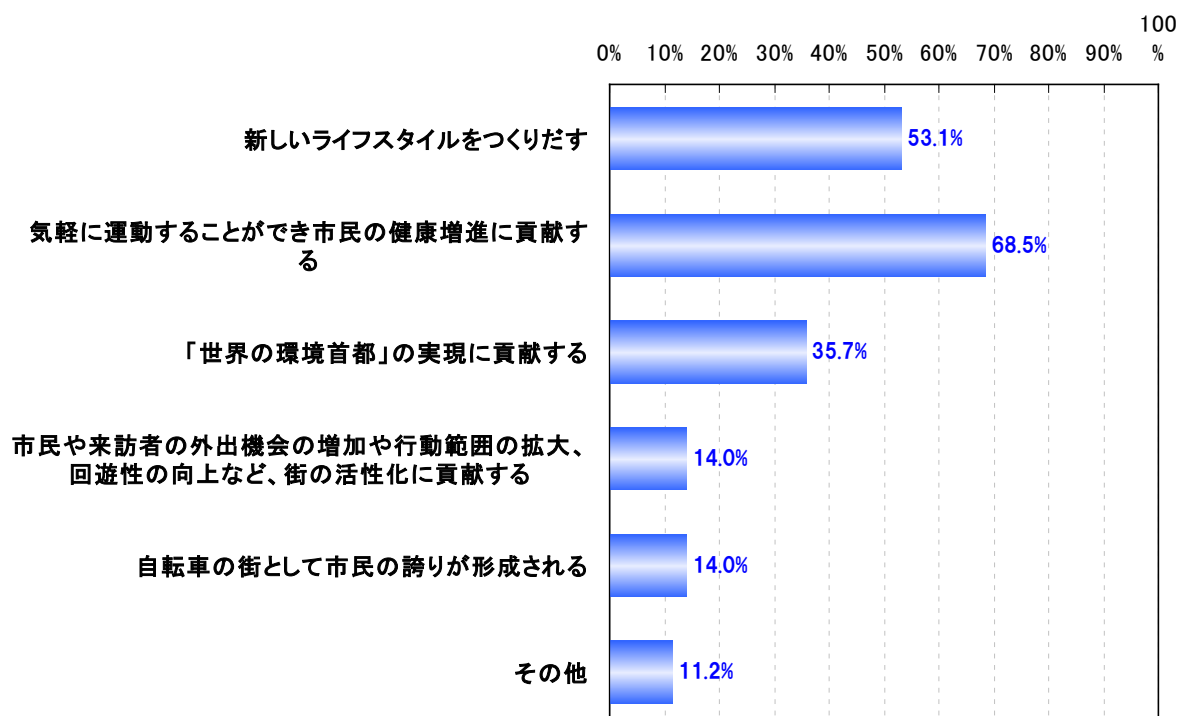
○「気軽に運動することができ市民の健康増進に貢献する」(68.5%)に約7割の人が回答している。

○「新しいライフスタイルをつくりだす」(53.1%)に過半数の人が回答している。

回答者数=143人

番号	回答内容	票数	割合
1	新しいライフスタイルをつくりだす	76	53.1%
2	気軽に運動することができ市民の健康増進に貢献する	98	68.5%
3	「世界の環境首都」の実現に貢献する	51	35.7%
4	市民や来訪者の外出機会の増加や行動範囲の拡大、回遊性の向上など、街の活性化に貢献する	20	14.0%
5	自転車の街として市民の誇りが形成される	20	14.0%
6	その他	16	11.2%

注) 複数回答のため割合の合計は100%を超える



環境首都実現に向けた取り組みのひとつとして、環境にやさしい自転車の利用促進について

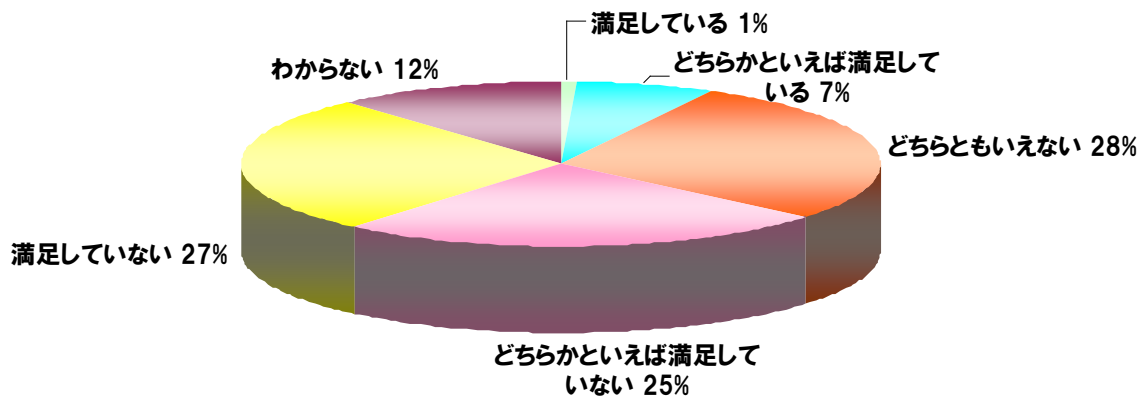
問 23)

現在の市内の自転車利用環境(走りやすさ、停めやすさ、シティバイクの実施など)について満足していますか。

- 「満足している」(0.7%)、「どちらかといえば満足していない」(6.9%)と合わせて、現在の市内の自転車利用環境に対し肯定的な意見は1割(7.6%)に満たない。
- 「満足していない」(27.1%)、「どちらかといえば満足していない」(25.0%)と合わせて、現在の市内の自転車利用環境に対し否定的な意見は全体の過半数(52.1%)を超えている。

回答者数=144人

番号	回答内容	票数	割合
1	満足している	1	0.7%
2	どちらかといえば満足している	10	6.9%
3	どちらともいえない	41	28.5%
4	どちらかといえば満足していない	36	25.0%
5	満足していない	39	27.1%
6	わからない	17	11.8%



IV 全体考察

本アンケートは、環境にやさしい自転車の利用環境の向上を図る総合計画である「北九州市自転車利用環境計画」の策定にあたって、市民意識を把握するために調査を実施したものであり、計画策定における基礎資料とするとともに、今後の自転車施策推進の参考とするものである。

◇自転車の利用実態に関する意見

通勤・通学・買物などの日常的な目的における自転車での移動距離について「5km 以内の近距離」との回答が約 7 割を占め、また移動可能な距離についても「10km 以内の近中距離」との回答が 7 割以上となっている。しかし、通勤・通学に自転車を利用する人は 1 割に満たず、私用で自転車を利用する人についても約 2 割となっている。自転車は近中距離移動において有効な手段であると考えられているものの、特に通勤・通学時の自転車利用率は低い。

自転車での道路の走行位置について、「車道と歩道の両方」との回答が 7 割以上となっており、その割合は「歩道 9 に対して車道 1」、「歩道 8 に対して車道 2」が過半数を占め、自転車に乗る場合の多くは歩道を走行している。また、自転車の走行位置について「歩道がよい」が「車道がよい」という意見を約 1 割上回っている。「自転車の走行位置は車道が原則」とする道路交通法の遵守率、認知度の低さがうかがえる。

◇自転車の利用促進に関する意見

自転車にもっと乗るため、またはクルマ（自動車）から自転車利用に変更するために必要なものとして、「安全・快適に走れる道路（自転車レーン、自転車専用道路など）の整備」に 8 割以上の人回答している。次いで「目的地や会社などの駐輪場所の充実」、「事故などを少なくするための対策の実施」「ルールやマナーなど交通教育の充実」との回答が上位を占めている。

自転車利用者の改善すべき点は、「迷惑な走行（マナーが悪いなど）」への回答が8割以上となっている反面、「特に問題ない」との回答は1%に満たない。また、クルマ利用者の改善すべき点については、「路上駐車」への回答が7割以上と高い。

なお、自転車を利用する理由については「所要時間が短いまたは一番早く目的地に行ける」、「手軽だから」、「運動不足解消になり健康によいから」、「交通費・ガソリン代が節約できるから」が上位となっている。

これらのことから、自転車の利用促進にあたっては、自転車走行空間や駐輪施設の整備などのハード施策に加え、ルール・マナー・教育などのソフト施策への取り組みが必要と言える。

◇自転車の利用促進による「環境首都」実現に向けた取り組みについて

自転車の利用を促進することに対し、肯定的な意見が全体の約7割を占めている。また自転車の利用促進により「気軽に運動することができ、市民の健康増進に貢献する」への回答が約7割と最も多く、次いで「新しいライフスタイルをつくりだす」に過半数の人が回答している。しかし、現在の市内の自転車利用環境（走りやすさ、停めやすさ、シティバイクの実施など）に対しては、過半数が満足していない。

自転車の利用促進に向けた取り組みについては、肯定的な意見が多数を占めているものの、現状の自転車利用環境に対する満足度は低く、環境の向上が求められている。

【市政モニターに関すること】

市民文化スポーツ局市民部広聴課 TEL 582-2527

【アンケート内容に関すること】

建設局道路部道路維持課 TEL 582-2274